

## 平成25年度事業報告

平成25年度は、NHK連続テレビ小説「あまちゃん」の放映や震災学習ニーズの増大によって、全国的に本県への関心が高まったこと、また、「うまっ！いわて観光キャンペーン」の全県的な取り組みにより、県北地域への入込数が増加するなど、本県全体への観光客の入込数は回復傾向にある。また、台湾からのチャーター便が増便となるなど外国人観光客も回復傾向が鮮明となっている。

しかしながら、沿岸地域は依然として震災前の水準には達しておらず、また、頻発した大雨・洪水被害が内陸部の宿泊施設等に甚大な損害や風評による宿泊者の減少などの被害をもたらした等、地域ごとに回復の度合いに差が生じている。

こうした状況の中、当協会としては、県全体への誘客を促進するため、ホームページで季節ごとの特集記事を掲載するなどタイムリーな情報発信に務めたほか、東京、大阪、名古屋をはじめ、大都市圏でのイベントへの出展、観光客誘致説明会及び教育旅行説明会の開催や県と連携して台湾での観光PRに参加するなど、国内外の観光客の誘致拡大に努めてきた。

さらに、本年度の新たな試みとして、外部資金を導入した観光人材の育成、事業者の経営革新を支援する事業を実施し、観光事業者の人材育成強化に取り組んだ。

また、事業実施にあたっては、県、市町村及び各観光協会並びに観光関係団体の実施する各種事業と密接に連携し、震災等の影響により落ち込んだ県内観光産業の回復に向けて、本県の魅力ある観光資源の宣伝と観光客の誘致拡大に取り組んだ。

## I 【 情報発信 】

### 1 観光情報高度化推進事業

#### (1) 観光情報高度化推進事業

岩手県観光ポータルサイト「いわての旅」の管理運営を行い、各種祭りやイベント等をはじめ、桜の開花、紅葉やスキー場情報等をタイムリーに発信した。

また、あまちゃんの放映に併せた「北三陸・北いわて特集」をはじめ、「いわて夏特集」や「とおの特集」等を製作し、観光情報の発信に努めた。

年 度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
アクセス件数 (対前年度比)	1,588,159 件 (5.7%減)	1,858,490 件 (17%増)	2,405,064 件 (29%増)

#### (2) 観光情報システム分担金事業

(公社)日本観光振興協会のHP“全国旅そうだん”を利用して、本県の観光情報を発信した。

### 2 パブリシティ有効活用事業

#### (1) パブリシティ有効活用事業

新聞等を活用し、本県の観光情報について近県を中心として全国に向けて発信した。

掲載年月日	掲載新聞・雑誌等名	発行部数等	内 容
H25.5.1	モーターサイクリスト	26 万部	・八幡平ほか県内のツーリングコースの紹介
H25.7.29	バイク旅行 Vol.8	5 万部	・久慈、田野畑、龍泉洞
H25.8	タウン情報誌 7 誌	24 万 9 千部 (東北 6 県、栃木県)	・北三陸、北いわて
H25.9～ H26.3	開運橋開運ビジョン 大通りレインボービジョン		・わんこきょうだいのうたの放映
H26	ラフガイド (英国旅行ガイドブック)	Web 掲載	・遠野
H26.2.10	旅の手帖 3 月号	18 万部	・三陸鉄道、久慈、田野畑
H26.1	タウン情報誌 7 誌	24 万 9 千部 (東北 6 県、栃木県)	・スキー場、冬の祭り
H26.3	旅チャンネル 「東北トラベラー」内CM	428 万世帯 (視聴可能)	・わんこきょうだいのうた、被災地復興情報

### 3 観光宣伝媒体作成事業

本県への観光客の誘致拡大を図るため「いわて旅地図」を作成した。

- ・ いわて旅地図 (作成部数 174,000部)

### 4 観光キャラクター活用事業

岩手県のPRキャラクター“わんこきょうだい”のグッズを各種観光キャンペーン等において配布し、岩手県の観光イメージのPRを図った。

また、わんこきょうだいシール3,347個を販売したほか、わんこきょうだい携帯ストラップ4,403個をキャラクター毎にそれぞれ地域限定で販売し、岩手県内各地域への誘客を図った。

さらに、新たに作成した「じぇ」の缶バッチの売れ行きが好調で、県内外で31,498個を販売し、岩手県のイメージをPRできた。

## II 【国内誘客対策】

### 1 観光客誘致促進事業

#### (1) 観光客誘致説明会

東京会場においては、首都圏の旅行商品造成・仕入れ等の担当者に対して、「あまちゃん」の放映で関心が高まった北三陸のご当地グルメを食しながら、岩手県の魅力ある観光資源を紹介・宣伝するとともに、県内観光・宿泊施設、行政及び観光関係団体等との商談会を開催した。

FDAの名古屋～花巻便の増便や中部圏からの復興支援等に対応するため、当協会初の開催となった名古屋会場では、岩手県の観光資源の宣伝紹介に加え、いわての食を代表する「わんこそば大会」もイベントとして取り入れ、商談会を開催した。

会 場	実 施 日	参 加 状 況 等
東京会場 中野サンプラザ	H25. 10. 8	旅行会社 (14社 27名) 岩手県側 (58名)
名古屋会場 名古屋東急ホテル	H25. 11. 19	旅行会社 (11社 15名) 岩手県側 (48名)

## (2) エージェント招待事業

	実施日	招待者	主な視察先等
第1回	H25. 5. 16～5. 18 (2泊3日)	(株)クラブツーリズム 6名	陸前高田市～大船渡市～釜石市～宮古市～久慈市 ①被災地ガイド (陸前高田) ②基石レストハウス ③三陸花ホテルはまぎく ④浄土ヶ浜 ⑤田老学ぶ防災ガイド ⑥龍泉洞 ⑦サッパ船アドベンチャーズ ⑧三陸鉄道 ⑨小袖海女センター ⑩琥珀採掘体験
第2回	H25. 9. 17～9. 18 (1泊2日)	(株)JTB本社、(株)JTB東北、(株)JTBコーポレートセールス 計5名	盛岡市～宮古市～大槌町～釜石市～陸前高田市 ①田老語り部ガイド ②田老観光ホテル ③浄土ヶ浜遊覧船 ④被災地ガイド (釜石市) ⑤長洞元気村 ⑥奇跡の一本松

## 2 教育旅行誘致促進事業

教育旅行の誘致拡大を図るため、主要なターゲットである北海道(札幌市、函館市)及び東京都並びに大阪府において説明会を開催したほか、札幌市の全公立中学校キャラバン等の訪問活動を実施し、本県の教育旅行の受入態勢について紹介宣伝を行った。

また、本事業の効果的な推進を図るため、本県の観光情報や体験学習メニューを紹介する教育旅行用ガイドブック『体感！感動！ワクワクいわて』を作成した。

### ア 岩手県修学旅行誘致説明会

開催地	実施日	参加状況
東京会場 (ホテルメトロポリタンエドモント)	H25. 8. 28	首都圏の旅行会社等の教育旅行担当者 (5社 11名)、岩手県側 (59名)
函館会場 (ロワジュールホテル函館)	H25. 9. 11	函館市及び周辺の中学校の担当教諭及び旅行会社等の教育旅行担当者 (6校 6名、6社 12名) 岩手県側 (75名)
札幌会場 (ニューオーターニイン札幌)	H25. 9. 12	札幌市及び周辺の中学校の担当教諭及び旅行会社等の教育旅行担当者等 (24校 28名、旅行会社 7社 21名)、岩手県側 (77名)

大阪会場（ホテル大阪ベイタワー）	H25. 12. 17	大阪圏の高校等の学校関係者及び旅行会社等の教育旅行担当者（9校14名、10社27名）、岩手県側（63名）
------------------	-------------	--

#### イ 訪問活動

実施日	訪問先	訪問者
H25. 7. 30 〃 H25. 7. 31	北海道中学校長会会長 札幌市中学校長会会長 函館市中学校長会会長	教育旅行誘致宣伝部会幹事、事務局2名
H25. 7. 30	札幌市立中学校（93校）	岩手県2名、教育旅行誘致宣伝部会幹事及び部会員計22名、事務局2名 計26名
H25. 7. 31	函館市立中学校（28校） 北斗市立中学校（5校） 七飯町立中学校（3校）	岩手県1名、教育旅行誘致宣伝部会幹事及び部会員計20名、事務局2名 計23名

#### ウ 体験メニューガイドブック作成

名 称	作成部数
岩手教育旅行ガイドブック「体感！感動！ワクワクいわて」	2,000部

### 3 旅行商品造成事業

#### (1) 旅行商品造成事業

県外観光客の本県への誘致を促進するため、旅行会社等が行う旅行商品の造成などへの支援を行った。

#### (2) 広域連携観光推進事業

旅行商品造成事業と併せて実施した。

(商品数：5企画、送客実績：245,998人泊)

団 体 名		企画名称	支援内容
パ ッ ケ ー ジ ツ ア ー 型	(株) J T B ガイアレック	お泊り1ばん東北・希望がいっぱい岩手へ行こう！	広告掲載料
	クラブツーリズム(株)	いわて三陸縦断の旅2日間	広告掲載料
	(株) J T B メディアリテーリング	復興支援三陸海岸大縦走ツアー	広告掲載料

団体名		企画名称	支援内容
web 広告	楽天トラベル(株)	「じえじえじえ」岩手に来てける	web 特集作成費
	(株)日本旅行 東北仕入販売センター	岩手県送客WEBキャンペーン魅力いっぱい「イーハトーブいわて」へ行こう	web 特集作成費

### Ⅲ【受入態勢整備】

#### 1 いわての観光サポート事業

##### (1) 「いわて観光おもてなしセンター」管理運営

協会内に「いわて観光おもてなしセンター」を設置して、手紙、電話及びメール等により寄せられる本県の観光に係る苦情、意見・提言等に対応した。

##### ア 苦情等対応状況

区分	件数	主な内容
意見	2件	①リアス海岸の名称について ②わんこフラッグについて
要望	0件	
苦情	8件	①山田のかき小屋での対応について ②直利庵での対応について ③石割桜開花時期の県庁駐車場の対応について ④ガイドブック「うまつ！いわて」に掲載している西和賀町のワラビ園の対応について ⑤「もりおかせんべい」について ⑥つなぎ温泉のお湯について ⑦「うまつ！いわて」キャンペーンガイドブック県南エリアの情報について ⑧ホテル海幸園について
計	10件	

##### イ 観光情報等問合せ状況

区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度
観光相談	1,818件	1,848件	1,576件
資料送付	1,261件	1,465件	1,235件
合計	3,079件	3,313件	2,811件

## (2) 「V」案内所運営等観光情報提供事業

国際観光振興機構の指定（H16.3.26）を受けて当協会事務局内に設置している「V」案内所において、外国人旅行者に対して観光情報を提供するとともに、国内旅行者に対しても観光情報を提供するため嘱託職員1名を配置した。

	平成 25 年度
問合せ別件数	窓口：2件 電話：1件 FAX：0件 電子メール：40件
内容別件数 (重複あり)	イベント・個人旅行・観光一般：8件 印刷物：29件 交通：2件 宿泊：2件 食事：0件 娯楽：0件 生活、その他一般：17件

## 2 北東北観光センター運営

本県の観光情報の提供を行い、本県を訪れる観光客の利便性の向上を図るため、JR盛岡駅2階の北東北観光センターの運営経費の一部を助成した。

区 分	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
来 訪 件 数	19,793件	24,306件	23,449件
電 話 ・ 書 面	834件	933件	644件
宿 泊 案 内	1,093件	1,044件	944件

## 3 観光土産品改善事業

観光産業の振興に重要な役割を果たしている観光土産品の品質向上を図るため、第54回岩手県観光土産品推奨審査会を開催し、観光土産品の推奨を行った。

併せて、ホームページ「岩手県観光ポータルサイト“いわての旅”」に推奨品を紹介した。

- ・ 推奨審査会 平成 25 年 11 月 14 日（木）
- ・ 推奨期間 平成 26 年 1 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日（2年間）
- ・ 推奨点数 72点（新規16点、更新56点）

## 4 ボランティアガイド育成事業

県内各地で活動する観光ボランティアガイドのガイド技術の向上とボランティアガイド団体相互のネットワーク化を目的に設立した「岩手県観光ボランティアガイド連絡協議会」（事務局：（一社）遠野市観光協会、加入団体25（支援・サポート団体14））に支援を行った。

## 5 観光業務優良従事者表彰

観光業務に従事する職員の意欲の高揚と資質の向上を図るため、「いわて観光の日」において優良従事者表彰を行った。

- ・ 実施日 平成25年5月16日（水）
- ・ 会場 久慈グランドホテル
- ・ 被表彰者 9名

### 《宿泊施設関係》 6名

(順不同、敬称略)

推薦団体	所属	氏名
(公財)盛岡観光コンベンション協会	(株)愛真館 フロント・宿泊係 課長代理	澤田 恵美子
	(株)愛真館 フロント・予約 課長代理	村上 敏美
	(株)愛真館 フロント・主任	高橋 瞳子
(一社)花巻観光協会	(株)花巻温泉 ホテル花巻 支配人	照井 純悦
	(株)新鉛温泉 料飲主任	照井 貴美子
	ファインリゾート(株)渡り温泉 売店・ラウンジ係長	佐々木 光子

### 《交通機関関係》 1名

推薦団体	所属	氏名
(公社)岩手県バス協会	岩手県交通(株) 観光バスガイド	田村 磨由

### 《その他》観光土産品店、観光協会、観光施設関係 2名

推薦団体	所属	氏名
大船渡市観光物産協会	大船渡市観光物産協会 事務局員	大森 ユキ子
	大船渡市観光物産協会 事務局員	熊谷 祐子



## 6 「おもてなしの心」向上研修事業

本県の豊かな観光素材を案内できるよう観光知識の向上を図る「観光知識向上研修会」を実施するとともに、観光客を迎える接遇の向上を目指す「おもてなしの心向上研修会」を実施した。

また、「いわて観光おもてなしマイスター」で運営する「いわて観光おもてなしマイスターの会」の研修事業に支援した。

### ア 観光知識向上研修会

- ・ 実施日 平成 25 年 7 月 9 日（火）
- ・ 会 場 盛岡市民文化ホール 小ホール
- ・ 参加者 いわて観光おもてなしマイスター 35 名、賛助会員 34 名合計 69 名
- ・ 講演① 演題 岩手県北地域の観光素材の歴史的背景について  
講師 久慈広域観光協議会 観光コーディネーター 貫牛利一氏
- ・ 講演② 演題 めざそう！世界の三陸ジオパーク  
講師 三陸ジオパーク推進協議会 事務局次長 植野歩未氏

### イ おもてなしの心向上研修会

- ・ 実施日 平成 25 年 12 月 4 日（水）
- ・ 会 場 いわて県民情報交流センター（アイーナ）
- ・ 参加者 賛助会員 97 名
- ・ 講 師 日本サービスマナー協会 専任マナー講師 伊藤厚子氏
- ・ 内 容 接遇の基礎、クレーム応対等

### ウ 「いわて観光おもてなしマイスターの会」への支援

#### ① 実地研修会（観光知識）

- ・ 実施日 平成 25 年 9 月 3 日（火）
- ・ 参加者 いわて観光おもてなしマイスター 24 名
- ・ 視察先 久慈琥珀博物館、小袖海岸、野田港帆立貝蓄養施設、野田村被災地視察、三陸鉄道、のだ塩工房、えぼし荘

#### ② 実践発表会

- ・ 実施日 平成 26 年 3 月 18 日（火）
- ・ 会 場 盛岡市民文化ホール 小ホール
- ・ 参加者 いわて観光おもてなしマイスター 18 名
- ・ 内 容 平成 25 年度の活動報告、沿岸地区の現状報告等

## 7 「観光の日」事業

旧岩手県観光連盟が、西暦 2000 年を機に、5 月 16 日を県民一人ひとりが観光の持つ重要性を認識し、観光による地域づくりを考え、自ら取り組む契機となる「いわて観光の日」と定めているが、この日を記念して講演会を開催し普及、啓発を図った。

### ア 記念講演会

- ・ 実施日 平成 25 年 5 月 16 日（水）
- ・ 会場 久慈グランドホテル
- ・ 出席者 80 名
- ・ 講演① 演題 北三陸の観光の魅力～『あまちゃん』を通じて～  
講師 久慈広域観光協議会 観光コーディネーター 貫牛利一氏
- ・ 講演② 演題 三陸復興国立公園の創設を核としたグリーン復興  
講師 環境省東北地方環境事務所国立公園・保全整備課課長 佐々木真二郎氏

### イ 新聞広告

- ・ 岩手日報 平成 25 年 5 月 9 日（水）3 段 1/2 フルカラー

## 8 観光産業人材育成等支援事業

いわて希望ファンド地域活性化支援事業助成金を活用し、観光関連事業者の経営革新や人材育成を支援した。

### (1) おもてなしの心講師養成事業

接遇の向上・気運醸成を図るため、県内の観光関連事業者に指導できるよう、いわておもてなしマイスターを対象とした接遇講師養成研修会を実施した。

- ・ 実施 平成 25 年 11 月～平成 26 年 1 月  
オリエンテーション 1 回、セミナー 3 回
- ・ 会場 いわて観光経済交流センター（マリオス）、いわて県民情報交流センター（アイーナ）
- ・ 参加者 10 名
- ・ 講師 株式会社リサーチユ 代表取締役 渡壁ほづみ氏
- ・ 内容 講師の必要な要素、講演演習、指導のポイント、各自の課題指導等

### (2) おもてなし経営研修事業

観光関連事業者の経営革新を促進するため、経済産業省が推進している「おもてなし経営」を実践している企業の取組みを学ぶセミナーや当該企業を見学する「現地視察会」を実施した。

#### ア 「おもてなし経営」セミナー

- ・ 実施日 平成 25 年 10 月 4 日（金）

- ・ 会 場 ホテルメトロポリタン盛岡本館
- ・ 参加者 賛助会員 55 名
- ・ 講 師 一般社団法人サービス産業革新推進機構 代表理事 内藤耕氏  
時音の宿湯主一條 当主 一條達也氏  
東山温泉向瀧 代表取締役 平田裕一氏
- ・ 内 容 経営革新の事例、経営の考え方、社員の意欲・能力向上、おもてなし経営を支える仕組み等

#### イ 第1回現地視察会

- ・ 実施日 平成 25 年 11 月 27 日（水）～28 日（木）
- ・ 視察先 宮城県白石市鎌先温泉 時音の宿湯主一條
- ・ 参加者 賛助会員 13 名
- ・ 指導者 時音の宿湯主一條 当主 一條達也氏
- ・ 内 容 経営革新の事例、経営の考え方、館内視察、個別相談等

#### ウ 第2回現地視察会

- ・ 実施日 平成 26 年 1 月 28 日（火）～29 日（水）
- ・ 視察先 福島県会津若松市東山温泉 向瀧
- ・ 参加者 賛助会員 12 名
- ・ 指導者 東山温泉向瀧 代表取締役 平田裕一氏
- ・ 内 容 経営革新の事例、社員育成の考え方、館内視察、個別相談等

### (3) トヨタ生産方式によるコンサルテーション事業

事業者の経営革新を促進するため、業務効率の向上、社員の能力向上を目指し、トヨタ生産方式の改善方法を学ぶセミナーやコンサルタントが事業者を直接助言指導する「現地指導」、更には「現地指導」を受けた事業者が、取組んだ改善活動を発表するセミナーを実施した。

#### ア トヨタ生産方式によるサービス産業の改善セミナー

- ・ 実施日 平成 25 年 9 月 6 日（金）
- ・ 会 場 ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング
- ・ 参加者 賛助会員 51 名
- ・ 講 師 一般社団法人中部産業連盟 会長 平野幸久氏  
同 参事 杉藤里美氏  
同 主任コンサルタント 赤根松実氏
- ・ 内 容 中部国際空港の改善事例、トヨタ生産方式による改善方法等

#### イ 現地指導

- ・ 期間・回数 平成 25 年 10 月～平成 26 年 2 月、5 回
- ・ 対象事業者 県内 5 社（宿泊 2 社、物販 3 社）
- ・ 指導者 一般社団法人中部産業連盟コンサルタント 2 名
- ・ 指導内容 経営幹部のヒアリング、トヨタ生産方式による改善の考え方、ムダの見つけ方、課題改善にむけた助言指導等

#### ウ 第2回セミナー 改善活動発表会

- ・ 実施日 平成26年2月13日(木)
- ・ 会場 ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング
- ・ 発表者 対象事業者5社の改善活動実践者5名
- ・ 指導者 一般社団法人中部産業連盟コンサルタント2名
- ・ 内容 改善活動の発表(現状、課題、取組内容、成果、今後の活動)、指導者からの総括指導等

## IV【国際観光推進】

### 1 外国人観光客誘致宣伝事業

#### ア 国際旅行博への出展

第20回台北国際旅行博(ITF2013)に出展し、本県の観光宣伝を行った。

名称	主催	会期・会場	来場者数等	参加概要(岩手県)
第21回台北国際旅行博 (ITF2013)	(財)台湾観光協会	H25. 10. 18 ～10. 21 (4日間) 台北世界貿易センター	約315,240人 60カ国・地域 850団体出展	・東北ブロック広域観光振興事業推進協議会(参加:岩手県、(公財)岩手県観光協会、平泉町、中尊寺、花巻温泉(株)、東北6県、東北観光推進機構、(公社)日本観光振興協会東北支部) ・ブース数:4 ・Visit Japan 日本旅遊商談会(10/17) ・ブースでの観光相談(10/18～10/21)

#### イ 国際観光支援事業

台湾といわて花巻空港間のチャーター便の増便や定期便化の要請、台湾と本県の観光交流の拡大を図るため、ミッション団や観光PRに参加した。

- ・ H25. 4. 21～ 4. 24 知事を団長とする関係団体訪問及び観光PR
- ・ H25. 9. 13～ 9. 16 台北駅での観光PR
- ・ H25. 9. 19～ 9. 22 スキー博覧会 in 台北
- ・ H26. 2. 9～ 2. 12 台北駅での観光PR

## 2 外国人観光客受入態勢整備事業

### (1) 国際チャーター便歓迎行事等

いわて花巻空港を離発着する国際チャーター便（台湾、タイ）の運航に応じて、「花巻空港国際チャーター便歓迎実行委員会」が、歓迎行事を実施した。

また、入出国審査等が円滑に行われるよう、毎回、通訳 3～5 名を配置した。

合 計	平成 23 年度		平成 24 年度		平成 25 年度	
	入国便数	入国便数	入国便数	入国者数	入国便数	入国者数
	5 回	596 人	14 回	2,152 人	26 回	3,964 人
春季 (4～6 月)	- 回	- 人	5 回	751 人	10 回	1,447 人
夏季 (7～8 月)	1 回	215 人	- 回	- 人	- 回	- 人
秋季 (9～11 月)	2 回	299 人	7 回	1,146 人	6 回	906 人
冬季 (12～3 月)	2 回	82 人	2 回	255 人	10 回	1,611 人

### (2) 「V」案内所運営（北東北観光センター）

JR盛岡駅 2 階に設置されている「V」案内所の運営経費の一部を助成した。

## 3 北東北三県・北海道ソウル事務所管理運営

北東北三県及び北海道が、共同で設置した韓国ソウル事務所の運営管理を実施した。

また、ソウル事務所が主催した商談会に参加し、韓国旅行会社等に本県の観光資源を紹介宣伝するなど誘客の促進を図った。

### ア 北東北三県・北海道ソウル事務所観光商談会

	実施日	会 場 等	参 加 者 等	内 容
第 1 回	H25. 9. 25	ソウルプラザホテル (大韓民国ソウル市)	韓国側旅行関係者等 74 社 148 名 日本側企業 27 社 40 名	冬・春季の観光資源説明、観光パンフレットの配布
	H25. 9. 25	スキー・スノーボード情報交換会	一般参加者 101 名 韓国側旅行 3 社 日本側企業 38 名	
	H25. 9. 26	旅行エージェント等訪問	4 社	岩手県側訪問者 3 名
第 2 回	H26. 2. 18	ソウルプラザホテル (大韓民国ソウル市)	韓国側旅行関係者等 77 社 141 名 日本側企業 22 社 37 名	春・夏季の観光資源の説明、観光パンフレットの配布
	H26. 2. 19	旅行エージェント等訪問	5 社	岩手県側訪問者 4 名

#### イ モニター招請事業

韓国内でアクセス数の高い人気ブログを作成しているパワーブロッガー2名を招請して、食、自然、歴史、体験をテーマに本県の魅力をHP等で広く情報発信した。

実施日	招請者	主な視察先等
H25. 10. 20～10. 23 (3泊4日)	ブロッガー2名	盛岡3大麺、手づくり村、えさし藤原の郷、狛鼻溪、小岩井農場、浄土ヶ浜、龍泉洞

#### ウ 韓国 AGT 連携ファム事業

トレッキングなど新たな旅行商品の造成促進を図るため、青森県、秋田県と連携して、韓国旅行エージェントを招請した。

実施日	招請者	主な視察先等
H25. 11. 2～11. 6 (4泊5日)	韓国 AGT 10名	鳥海山、安比高原自然学校、八幡平、白神山地

### 4 台湾観光関係者等招待事業

外国人観光客誘致の主要マーケットである台湾において、チャーター便の運航拡大及び定期便の要請を行うため、知事をトップとしたミッション団によるセールスを実施し、本県の観光セミナー及びレセプションを実施した。

実施日	招待者	会場
H25. 4. 23	航空会社関係者、旅行会社関係者、マスコミ関係者 30名	リージェント台北 バンケットルーム

### 5 香港 EGL ツアーズ社事業招請支援業務

本県の観光資源に対する理解を深めるため、香港の旅行会社を招聘し、観光地の紹介と観光事業者との交流懇親会を開催した。

実施日	招待者	主な視察先等
H25. 4. 24～4. 25 (1泊2日)	香港 EGL ツアーズ社 2名	東家、花巻温泉

### 6 韓国旅行エージェント招請事業

ゴルフと観光を組み合わせた新たな旅行商品を開発するため、韓国の旅行会社を招請し、ゴルフ等の旅行商品造成を図った。

実施日	招請者	主な視察先等
H25. 6. 15～6. 18 (3泊4日)	旅行会社6社6名、ソウル事務所1名	盛岡南ゴルフ倶楽部、雫石ゴルフ場、安比ゴルフ倶楽部、中尊寺、狛鼻溪、えさし藤原の郷、小岩井農場、八幡平

## 7 台湾観光 PR 事業支援業務

台北市民に対して本県観光の魅力をPRするため、観光PRミッション団を編成し、台北駅構内で2日間、観光PR活動を行った。

また、台湾のスキーヤー等に本県の冬の魅力をPRするため、国際スキー博覧会に出展し、本県のスキー場等を紹介し、冬の誘客の促進を図った。

イベント	実施日	場所	内容
台北駅構内でのPR活動	H25. 9. 14～9. 15 (1泊2日)	台北駅構内広場	・一日4～6回のステージPR ・南部鉄器を使った日本茶・ 県産菓子の試飲食 ・観光パンフレット配布
台湾国際スキー博覧会出展	H25. 9. 19～9. 22 (3泊4日)	新北市工商展覽センター	・ブースでのPR ・ステージでのPR

## 8 台湾中華航空等招待事業支援業務

台湾からの本県への定期便誘致促進を図るため中華航空の孫会長をはじめ、同社幹部、台湾大手旅行会社の社長（会長）、メディアなど台湾の要人を招待し、本県の観光資源や県産品を紹介した。

実施日	招待者	主な視察先等
H25. 9. 13～9. 16 (3泊4日)	中華航空、台湾大手旅行会社、コーディネーター 13名	花巻空港、後藤新平記念館、 岩鑄鉄器館、小岩井農場、八幡平、安比高原、浄土ヶ浜、 龍泉洞、鶯宿温泉、東家

## 9 メディア招請及び情報発信事業

風評被害の払拭と外国人観光客の誘客を図るため、外国人（英語圏）向けの日本観光情報インターネットサイトを運営しているメディアを本県に招請し、現地情報サイトを通じて本県の観光地の現状を情報発信した。

実施日	招待者	主な視察先等
H25. 10. 17～10. 21 (4泊5日)	ブロガー1名	浄土ヶ浜、平泉

## 10 台湾テレビタイアップPR事業

外国人観光客誘致の主要マーケットである台湾において、NHK連続テレビ小説「あまちゃん」の放映にあわせ、本県の観光PR番組を製作・放送することにより、観光地の宣伝紹介及び誘客促進を図った。

実施日	招請者	主な視察先等
H25. 12. 8～12. 12 (4泊5日)	台湾ビデオランド5名	小袖海岸、やませ土風館、久慈琥珀博物館、三陸鉄道、岩鑄鉄器館、東家、江刺りんご、牛の里、中尊寺、猊鼻溪

## 11 韓国メディア招請事業

韓国の新聞社を招請し、本県の現状や観光・食・物産等の魅力をPRすることにより、韓国での本県の観光情報を発信した。

実施日	招請者	主な視察先等
H25. 11. 30～12. 3 (3泊4日)	新聞社1名	平泉、猊鼻溪、花巻温泉、小岩井農場、手づくり村、安比高原、盛岡三大麺

## 12 台湾エージェント・メディア招請事業

台湾で放映した「小海女（あまちゃん）」のロケ地など本県の観光資源を台湾の旅行エージェントやメディアに紹介するため、台湾の雑誌社を招請し、本県観光地の認知度の向上及び誘客促進を図った。

実施日	招請者	主な視察先等
H26. 2. 23～2. 27 (4泊5日)	中華航空、台湾大手旅行会社、マスコミ、コーディネーター 10名	龍泉洞、浄土ヶ浜、北山崎、三陸鉄道、小袖海岸、安比高原、牛の里、猊鼻溪、花巻空港、花巻温泉

## 13 台湾観光関係者招待事業

外国人観光客誘致の主要マーケットである台湾におけるチャーター便の運航拡大及び誘客促進を図るため、台北市で観光セミナー及び中華航空及び旅行エージェントを招待して昼食会を実施した。

実施日	招待者	場所
H26. 2. 11	中華航空、台湾大手旅行会社 19名	台北市ウェスティンホテル

## 14 東南アジア圏インフルエンサー招請事業

東南アジア圏からの外国人観光客の誘客促進を図るため、第3回ミスキャンパスサミットの開催に合わせ、東南アジア圏のインフルエンサーであるミスキャンパスを本県に招請し、ブログやSNSを通じた本県観光地の情報発信、誘客促進を図った。



実施日	招請者	主な視察先等
H26. 2. 21	ベトナム外交学院ミス キャンパス等 2 名	安比高原、手づくり村

## 15 台湾メディア招請事業

外国人観光客誘致の主要マーケットである台湾において、めざましい勢いで増加しているスキー客を誘致するため、台湾スキー雑誌等のメディアを招聘し、岩手、秋田、両県スキー場の情報発信を行い、誘客促進を図った。

実施日	招待者	主な視察先等
H25. 3. 2～6 (4泊5日)	スキー関係メディア担 当者 10 名	雫石スキー場、安比高原、亜 花巻温泉、猊鼻溪

## 16 訪日外国人誘客・受入研修会

訪日外国人の更なる誘客、受入態勢の整備の向上のため、県内のインバウンド関係者を対象として、増加傾向にある台湾人観光客の受け入れ、及び今後有望なイスラム圏からの観光客の受け入れに関する講演会を開催した。

実施日	講師	参加者
H26. 3. 26	・台湾観光協会職員 1 名 ・マレーシアハラルコー ポレーション(株) 1 名	県内インバウンド施設関係者 等約 60 名

## V 【 連携・支援 】

### 1 各種キャンペーン支援事業

#### (1) いわて観光キャンペーン推進費

いわて観光キャンペーン推進協議会負担金の支出やイベント等に出展し観光PRを行った。

《主な対応状況》

実施日	場 所	イベント名等
H25.7.6 (土) ～7.7 (日)	花巻市	花巻 BB フェア
H25.9.21 (土) ～9.22 (日)	仙台市	ハイウェイフェスタ東北 2013
H26.1.25 (土) ～1.26 (日)	札幌市	石狩東北観光フェア

## (2) いわてウインターリゾート協議会事業

「いわてウインターリゾート協議会PR事業」支援及び「旅フェア日本 2013」への出展協賛等を行った。

## (3) 各種キャンペーン支援事業

### ア 広域観光キャンペーンの支援

広域観光推進団体が実施する首都圏等を対象とした広域観光キャンペーンを支援した。

《支援事業》

- ・ 三陸復興国立公園協会観光PR事業

### イ 観光関係催事への参加、出展

各種観光関係催事へ参加、出展し、本県観光情報を発信しPRを行った。

- ① ご当地キャラクターフェスティバル in すみだ  
(主催：ご当地キャラクターフェスティバル in すみだ 2013 実行委員会)
  - ・ 出展期間：H25. 5. 25 (土) ～5. 26 (日)
- ② 旅フェア日本 2013 (主催：(公社) 日本観光振興協会)
  - ・ 出展期間：H24. 11. 8 (金) ～11. 10 (日)
- ③ ふるさと祭り東京 2014 (主催：ふるさと祭り東京実行委員会)
  - ・ 出展期間：H26. 1. 10 (金) ～1. 13 (月)
- ④ 第30回大阪モーターサイクルショー (主催：近畿二輪車協会)
  - ・ 出展期間：H26. 3. 21 (金) ～3. 23 (日)
- ⑤ 第41回東京モーターサイクルショー  
(主催：東京モーターサイクルショー協会)
  - ・ 出展期間：H26. 3. 28 (金) ～3. 30 (日)

### ウ 後援、共催

「春の藤原まつり」(主催：(社)平泉観光協会)ほか、53 イベント等に対する後援・共催を行った。

## 2 県外事務所観光振興支援事業

東京、大阪、名古屋及び福岡の大都市圏において、本県への観光客の誘致を一層促進するため、岩手県の県外事務所が実施する誘致宣伝事業等を支援した。

県外事務所	事業実施内容
岩手県東京事務所	・ 観光宣伝用資料印刷費、観光宣伝用県産品等購入費 ・ (公社)日本観光振興協会賀詞交歓会等負担金
岩手県大阪事務所	・ 観光宣伝用県産品等購入費
岩手県名古屋事務所	・ 観光宣伝用県産品等購入費 ・ 観光ポスター掲出費 (地下鉄名古屋駅、栄駅)

岩手県福岡事務所	・旅情報誌「遊人」(冬号)の岩手の旅特集記事作成に係る取材経費
----------	---------------------------------

### **3 (公社) 日本観光振興協会への拠出金**

同協会に対して、全国広域観光振興事業拠出金を負担した。

### **4 東北観光推進機構事業**

同機構に会員として参画し、東北広域観光の振興を図った。

### **5 北東北三県観光立県推進協議会事業**

同協議会が企画・実施する事業に会員として参画し、広域観光の振興を図った。

### **6 観光宣伝事業等負担**

(公社) 日本観光振興協会、岩手県空港利用促進協議会、みちのく五大雪まつり推進協議会、チャグチャグ馬コ保存会等の観光団体に対して負担金を支出した。

## 事業報告の附属明細書

公益財団法人岩手県観光協会の平成25年度事業報告において、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」はない。